

ブラジル日本商工会議所 業種別部会長シンポジウム 「自動車部会」レポート

2017年2月23日

＜2016年の回顧と2017年の展望＞

景気回復に向けて、今為すべきことは？

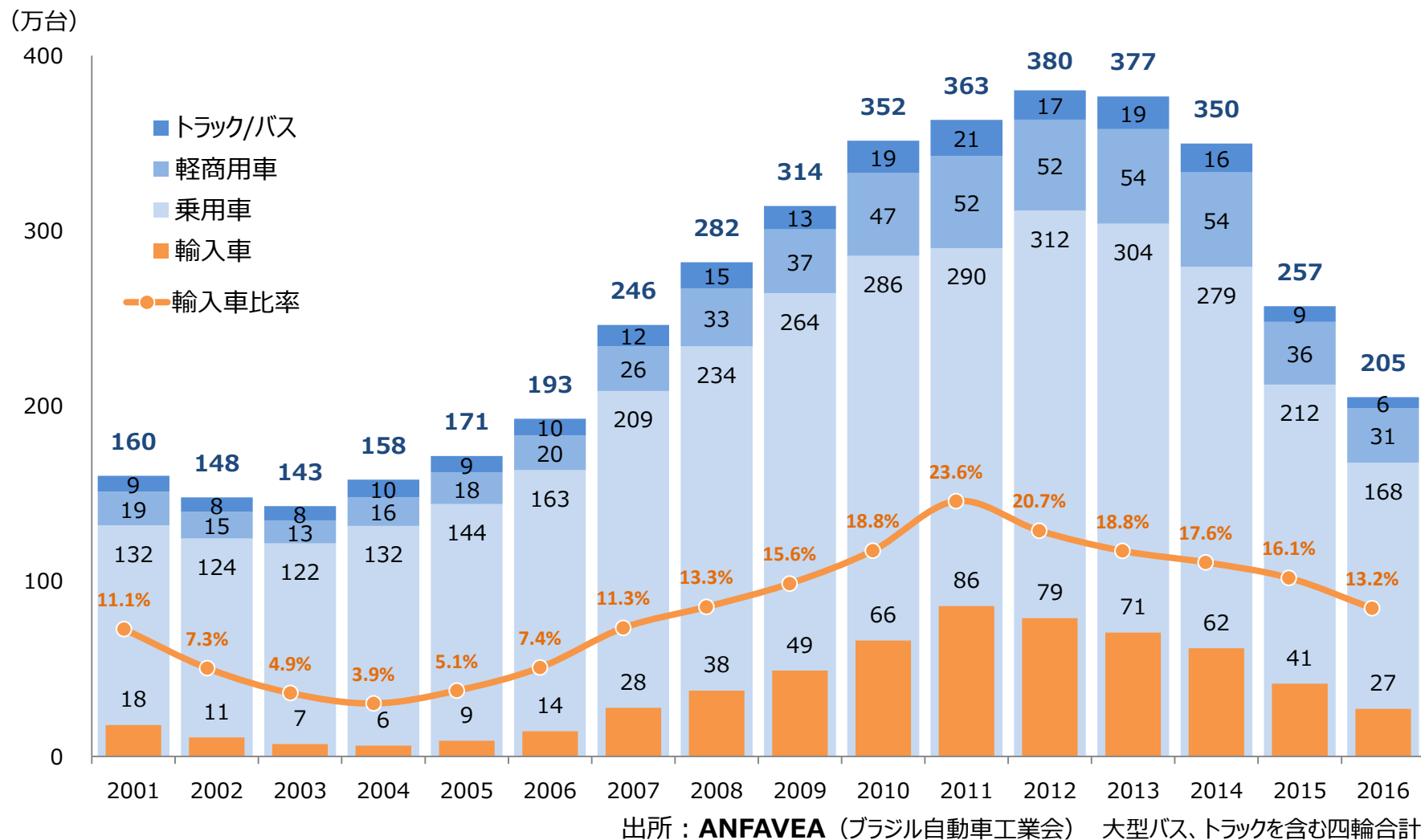
- 四輪業界動向
 1. 2016年 振り返り
 2. 2017年 展望
 3. 長期展望
 4. 日系ブランド課題への対応
 5. 総括

- 二輪業界動向

四輪業界動向

1. 2016年振り返り
2. 2017年展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

1. 2016年 振り返り – 販売台数 推移

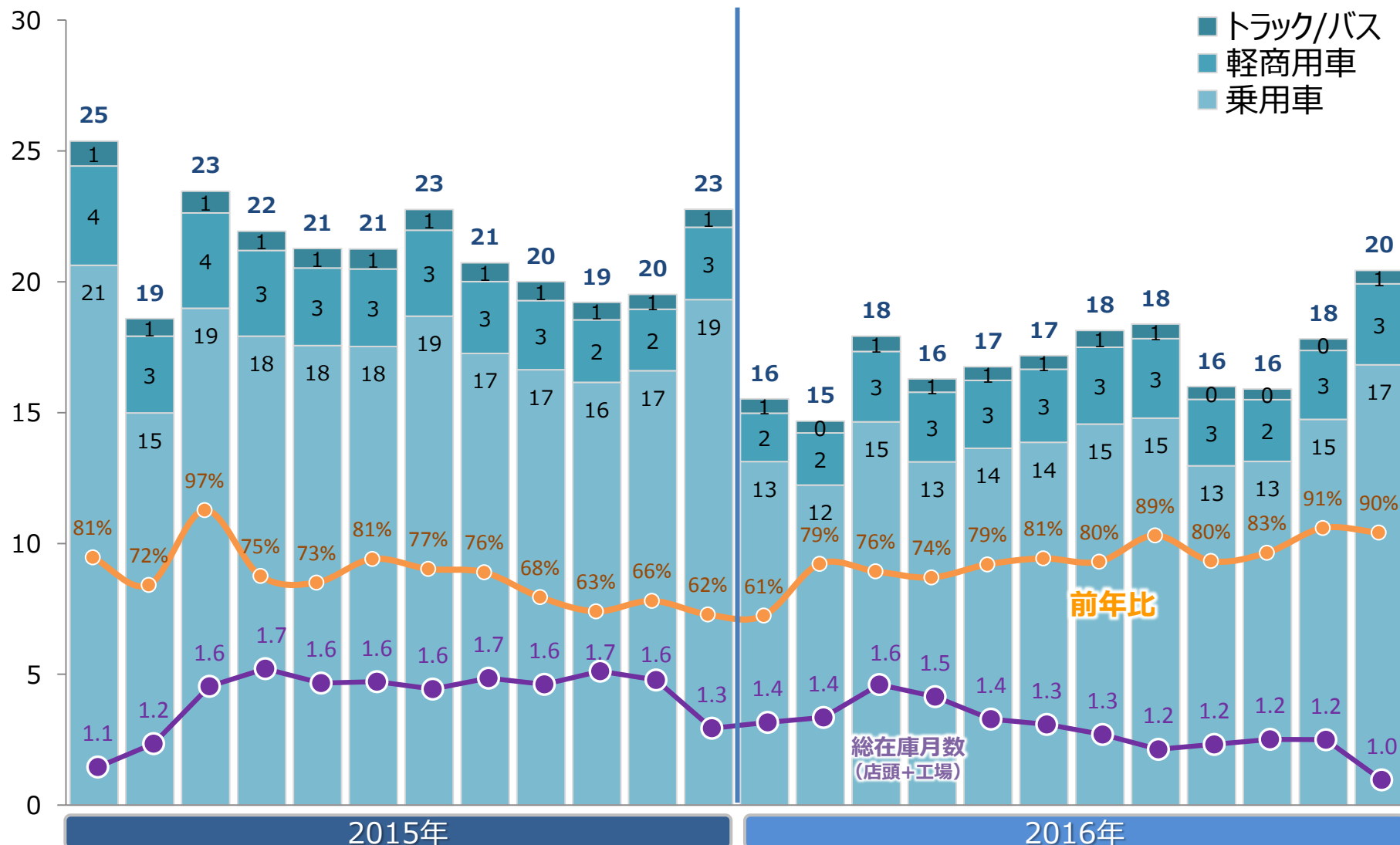


- 2016年四輪総市場は約205万台(前年比 約80%)と4年連続の減
- 輸入車比率も13.2%と5年連続で低下

1. 2016年 振り返り 一月別販売台数 推移

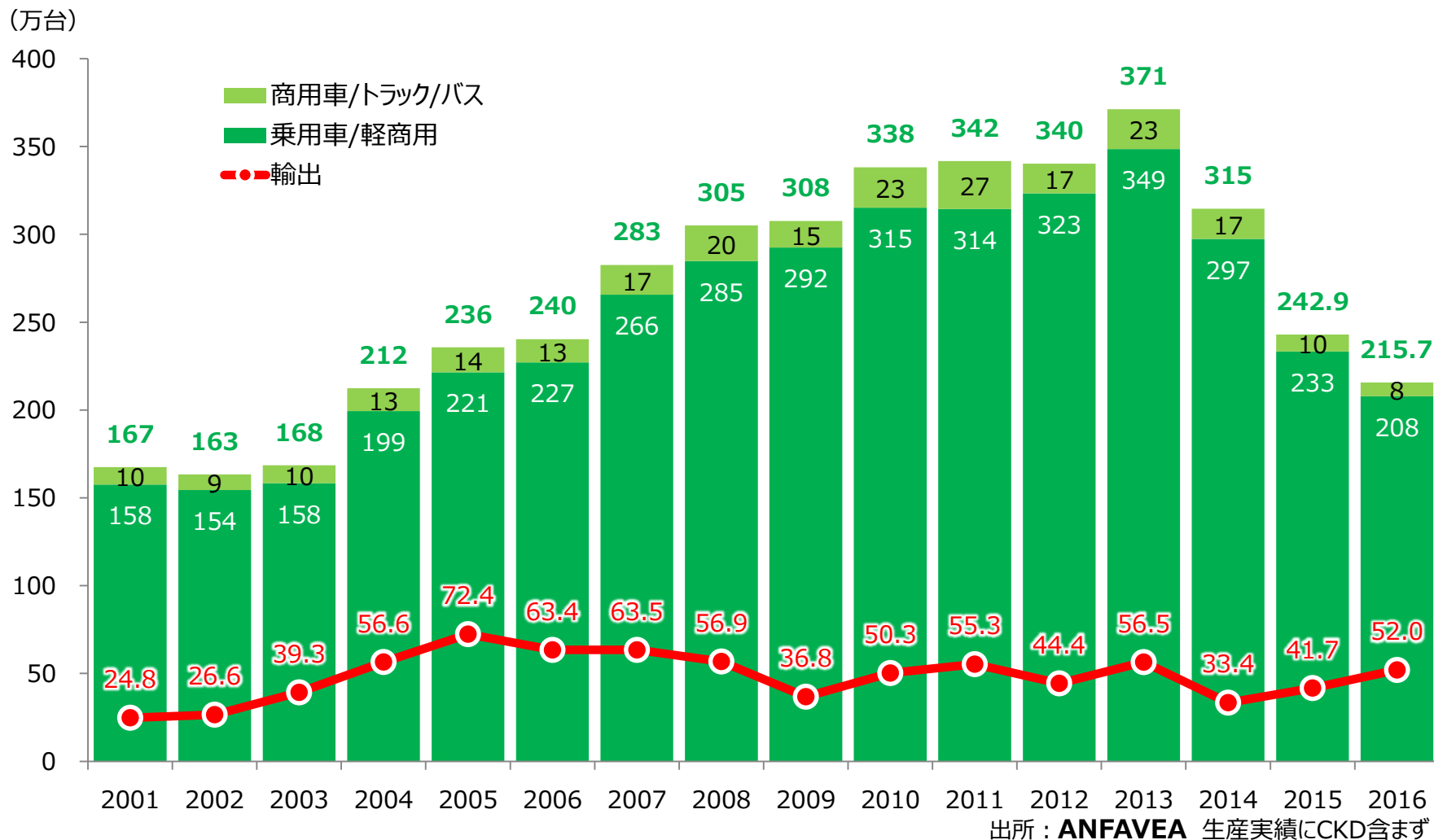
(万台)

出典：ANFAVEA 大型バス、トラックを含む四輪合計



- 2016年1月以降、景況感のさらなる悪化、失業率上昇等の影響により、前年に比べ販売が減少
- 在庫月数は1か月前半で推移。各社生産調整により在庫調整は一巡

1. 2016年 振り返り – 生産・輸出台数 推移



- 2016年の総生産台数は約215.7万台（前年同期比：88.8%）
- 一部メーカーで引き続き生産調整を実施するも、レイオフ・解雇などは上期に比べ減少
- レアル安の影響で輸出増加（前年同期比：124.7%）

1. 2016年 振り返り – 輸出台数 詳細




◆ カテゴリー別 輸出概要 (単位：台)

出所：ANFAVEA/MDIC

カテゴリー	2015年	2016年	差違	前年比
乗用車	316,531	410,153	+93,616	+29.6%
ライトトラック	72,230	78,903	+6,417	+9.2%
トラック	20,869	21,470	+486	+2.9%
バス	7,325	9,760	+2,435	+33.2%
合計	416,955	520,286	+102,954	+24.8%

◆ 輸出相手国別 輸出金額 (CKD含む)

2015年		
	輸出相手国	FOB(百万ドル)
1	アルゼンチン 	1,660
2	メキシコ 	161
3	インドネシア 	66
4	サウジアラビア* 	55
5	コロンビア 	51

2016年			
	輸出相手国	FOB(百万ドル)	前年比
1	アルゼンチン 	3,173	+25%
2	アメリカ合衆国 	242	+3585%
3	メキシコ 	234	-17%
4	チリ 	127	+198%
5	コロンビア 	117	+84%

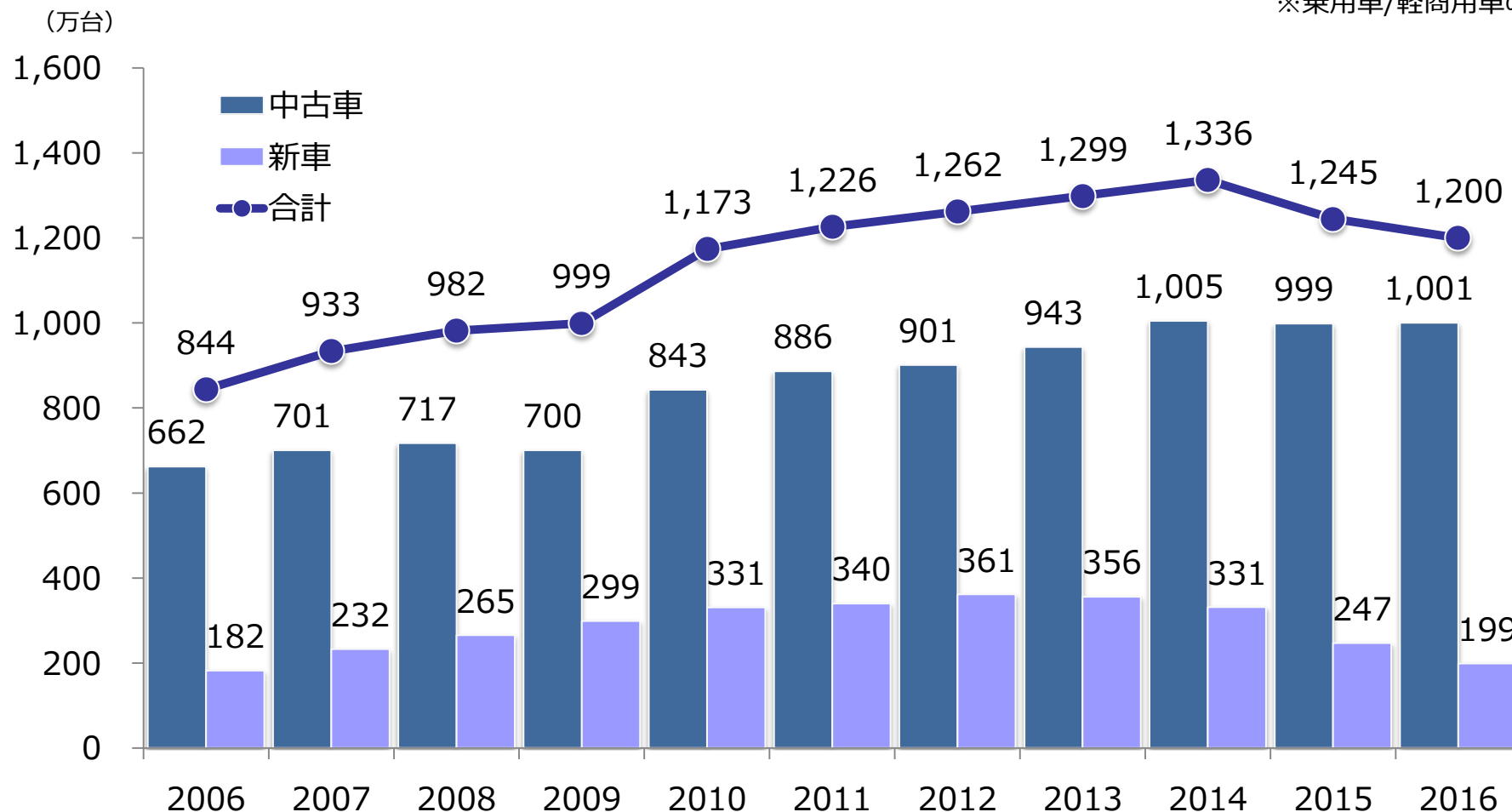
* サウジアラビアへの軍事車輛等

➤ 各社輸出に力を入れ、前年比で大幅にプラスとなるも、国内販売の落ち込みをカバーするには不十分

1. 2016年 振り返り – 自動車業界(中古・新車)

出典：FENABRAVE/ ANFAVEA

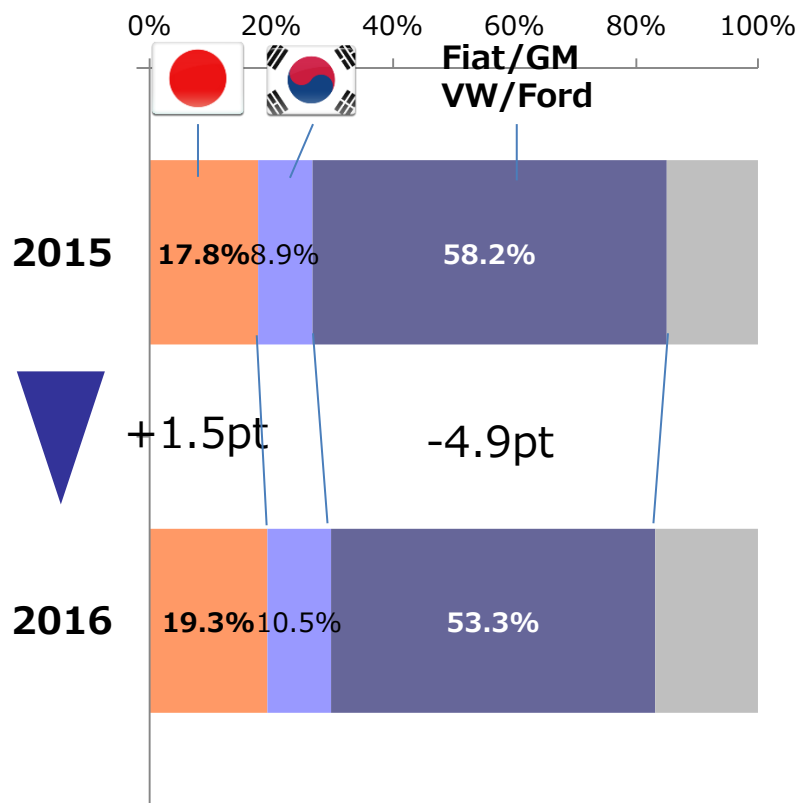
※乗用車/軽商用車のみ



➤ 新車市場が大きく落ち込む中、中古車市場は横ばいで推移。年間約1,000万台の規模を維持。

1. 2016年 振り返り – 日系ブランドの健闘

単位：千台



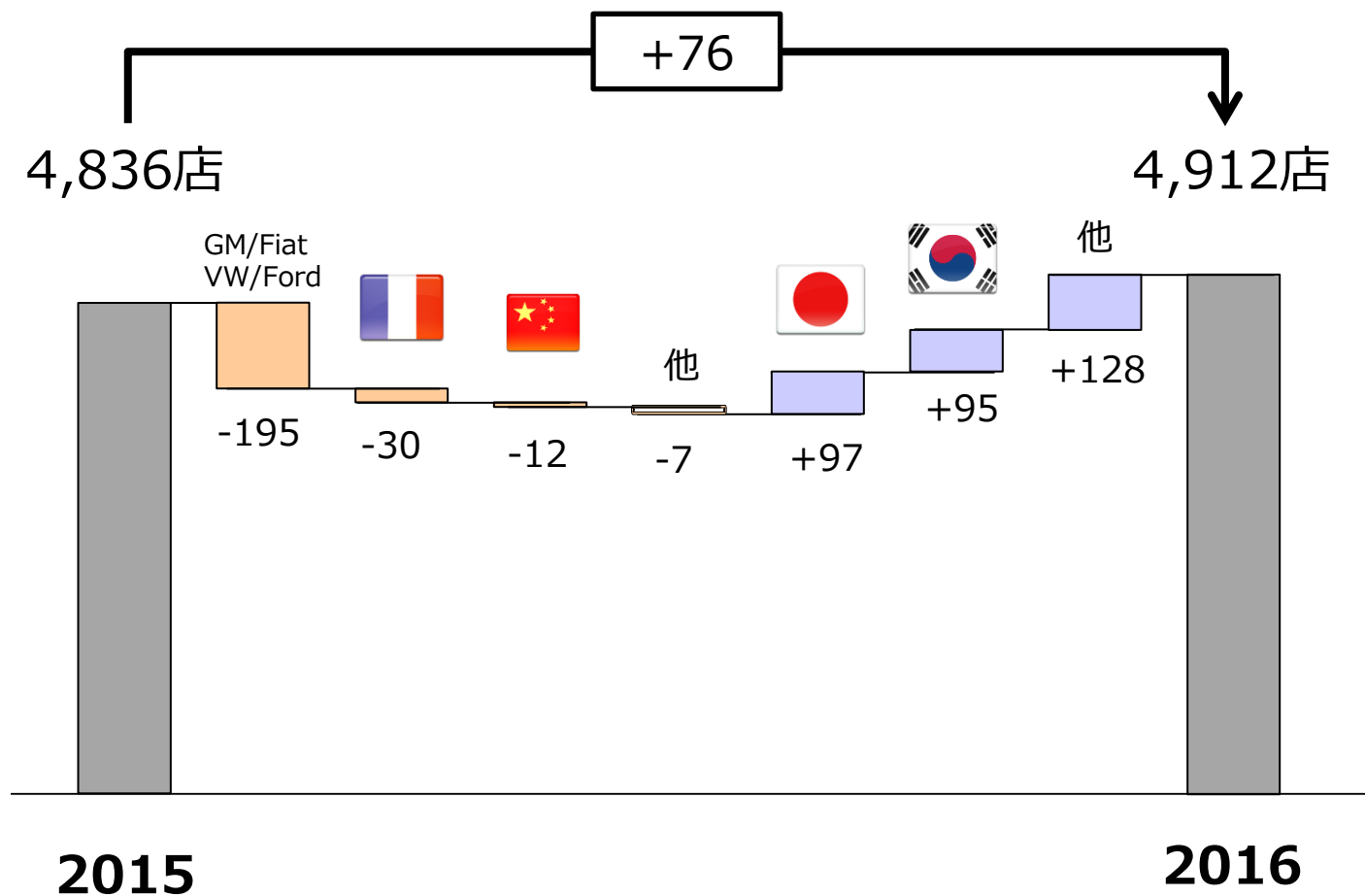
出所：ANFAVEA (バス・トラックを除く)

	'15	台数	シェア	'16	台数	シェア
1		436	17.7%	1		346 17.4%
2		388	15.7%	2		305 15.3%
3		360	14.6%	3		228 11.5%
4		254	10.3%	4		198 9.9%
5		205	8.3%	5		180 9.1%
6		178	7.2%	6		180 9.1%
7		176	7.1%	7		150 7.5%
8		153	6.2%	8		123 6.2%
9		61	2.4%	9		61 3.1%
10		42	1.7%	10		59 3.0%

- 長期にわたって変動のなかったTop4ブランドからFordが6位に転落。Top4シェア過半数割れ目前。
- 一方日系及び韓国ブランドは健闘し、着実にシェアを拡大

1. 2016年 振り返り – 日系ブランドの健闘

Data:新車販売店(Honda調べ)



- Big 4が多くの販売店を閉鎖する一方、日系ブランド、韓国ブランドは販売網を拡大
- 市場全体としては、前年比で販売店数増

1. 2016年 振り返り – Sao Paulo Motor Show



SALÃO INTERNACIONAL
DO AUTOMÓVEL DE SÃO PAULO
2016

第29回 サンパウロモーターショー

1960年より、隔年で開催される「南米最大」の四輪Motor Show

来場者：71.5万人 (2014年：75.6万人 ▲5.4%)

出展企業：546社 (内完成車メーカー：30社) Press Day:11月8日・9日 一般日:11月10～20日

■日系ブランド 発表概要



CH-R (Concept)

主な展示
CH-R(Concept)
Corolla/Etios
Mirai(FCV)

Etiosの輸出拡大、
新車/中古の包括プログラム
などで更なる事業強化を狙う



Kicks

主な展示
Kicks/Frontier
March
VGT 2020 (concept)

Kicksのブラジル生産と
new Frontierで
シェア拡大を狙う



WR-V

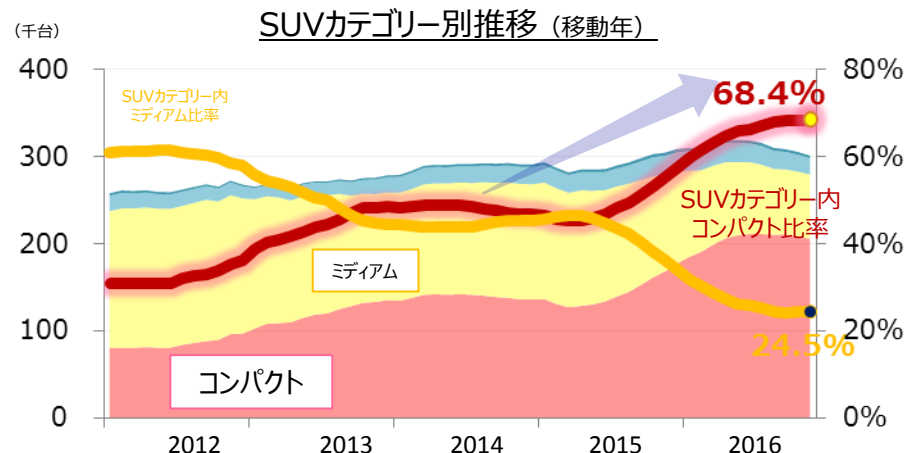
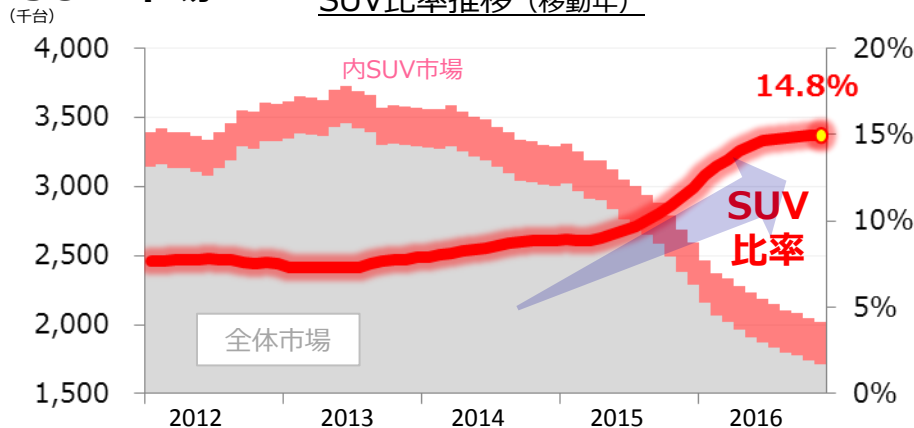
主な展示
WR-V
Civic
Clarity Fuel Cell (FCV)
MP4-31 (F1)

ブラジル開発のWR-V
により南米市場での
競争力強化を狙う

新車発表に加え、先進環境安全技術やコンセプトカーを日系ブランドが積極的に展示。
来場者、メディアの注目を集めた。

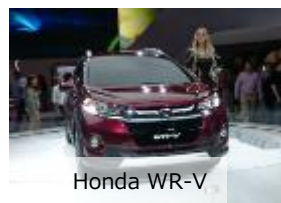
1. 2016年 振り返り – Sao Paulo Motor Show

■ SUV 市場

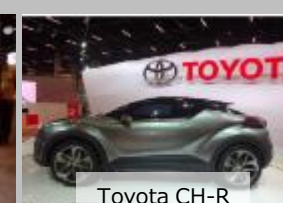


2013年以降、全体市場が落ち込む中、SUVセグメントは拡大傾向。

■ 注目SUV



SUV Concept



各社堅調なSUV市場に積極的にモデルを展開。厳しい市場の中、SUV市場は今後も拡大傾向。

四輪業界動向

1. 2016年振り返り
2. 2017年展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

2. 2017年展望 – 経済

Data : Banco Central do Brasil
(As of January, 27th 2017)

◆ ブラジル経済指数

	2012	2013	2014	2015	2016	2017 Forecast
実質経済成長率 GDP (%)	1.0	2.5	0.1	-3.8	Forecast -3.3*	0.5
為替 年末予想 (BRL/USD)	2.05	2.36	2.66	3.90	3.34	3.4
インフレ (IPCA - %)	5.8	5.9	6.4	10.67	6.3	4.7
金利 (SELIC) 年末予想 (%)	7.25	10.00	11.75	14.25	13.75	9.5

- 2017年GDP成長率はプラス予想
- インフレは5%を下回る水準となる予想。金利は9.5%まで下げられる見込み。
- 対ドルレートは2016年末と同水準と予測

2. 2017年展望 – 自動車業界

出典：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

◆ ブラジル市場・輸出・生産の2017年予測

単位：万台

		2016年 中間修正予測		2016年 最終結果	2017年予測	
		ANFAVEA (6月6日発表)	自動車部会		ANFAVEA (1月5日発表)	自動車部会
国内 市場	トラック・バス 含む総合計	208.0 前年比：-19.0%	—	205.0 前年比：-20.2%	213.0 前年比：+4.0%	210.3 前年比：+2.4%
	トラック・バス 除く合計	201.4 前年比：-18.8%	200.0 前年比：-19.4%	198.9 前年比：-19.8%	206.7 前年比：+3.9%	204.0 前年比：+2.6%
輸出台数		50.7 前年比：+21.5%	-	52.0 前年比：+24.7%	55.8 前年比：+7.2%	-
生産台数		229.6 前年比：-5.5%	230.0 前年比：-5.3%	215.7 前年比：-11.2%	241.0 前年比：+11.9%	241.0 前年比：+11.9%




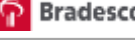
- 経済環境の回復予想に伴い、ANFAVEAは2017年 販売台数予測を約213万台（前年比：+4%）と市場が5年ぶりに増加に転じると予想
- 輸出は、レアル安などにより増加した昨年をさらに上回ると予想
- 国内市場の回復、および輸出台数増により、生産台数は前年比 +12%となる見込み

四輪業界動向





1. 2016年振り返り
2. 2017年展望
3. **長期展望**
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

3.長期展望 – 経済指標





◆ GDP成長率

Bank	2015*	2016	2017	2018	2019	2020
 BANCO CENTRAL DO BRASIL	-3.8	-3.6	0.5	2.2		
 Santander	-3.8	-3.6	0.7	3.0	3.0	3.0
 Itau	-3.8	-3.4	1.0	4.0	3.0	3.1
 Bradesco	-3.8	-3.6	0.3	2.5	3.0	3.0
今回平均	-3.8	-3.6	0.6	2.9	3.0	3.0
前回平均	-3.8	-3.4	1.4	3.3	3.6	3.2
差異	0.0	-0.2	-0.8	-0.4	-0.6	-0.2





◆ インフレ率

Bank	2015*	2016	2017	2018	2019	2020
 BANCO CENTRAL DO BRASIL	10.67	6.30	4.70	4.50		
 Santander	10.67	6.30	4.80	4.50	4.50	4.50
 Itau	10.67	6.30	4.70	4.00	3.90	3.90
 Bradesco	10.67	6.30	4.54	4.54	4.50	4.50
今回平均	10.67	6.30	4.69	4.39	4.30	4.30
前回平均	10.67	6.98	4.96	4.57	4.39	4.45
差異	0.0	-0.7	-0.3	-0.2	-0.1	-0.2

◆ FX Rate (BRL/USD)

Bank	2015	2016E	2017E	2018E	2019E	2020E
 BANCO CENTRAL DO BRASIL	3.90	3.26	3.40	3.50		
 Santander	3.90	3.26	3.75	3.84	3.94	4.03
 Itau	3.90	3.26	3.50	3.50	3.55	3.65
 Bradesco	3.90	3.26	3.50	3.60	3.70	3.80
今回平均	3.90	3.26	3.54	3.61	3.73	3.83
前回平均	3.90	3.36	3.56	3.69	3.76	3.83
差異	0.00	-0.10	-0.02	-0.08	-0.03	-0.01

◆ 金利 (SELIC)

Bank	2015*	2016	2017	2018	2019	2020
 BANCO CENTRAL DO BRASIL	14.25	13.75	9.50	9.00		
 Santander	14.25	13.75	9.75	8.50	8.50	8.50
 Itau	14.25	13.75	9.75	8.50	7.25	7.00
 Bradesco	14.25	13.75	10.25	9.25	9.25	8.75
今回平均	14.25	13.75	9.81	8.81	8.33	8.08
前回平均	14.25	13.19	10.31	8.92	8.67	8.83
差異	0.0	0.5	-0.5	-0.1	-0.3	-0.8

- 各行、GDP成長率は半年前の予想より下方修正する一方、インフレ率と金利は直近のトレンドを受け前回予想より低下
- 2016年を底として緩やかな回復傾向を予想

3. 長期展望 – ブラジル自動車市場

前回見直し

現状の販売状況、および長期経済指標などを総合的に見た場合
ブラジル自動車市場が回復に転ずるのは2017年以降と予想

今回見直し

現状の販売状況、および長期経済指標などを総合的に見た場合
ブラジル自動車市場は底打ち状態にあり、
回復に転ずるのは2017年後半～2018年と予想

四輪業界動向

1. 2016年振り返り
2. 2017年展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

4. 日系ブランド 課題への対応

日系ブランドの課題

自動車部会にて
整理した課題と対応

① 厳しい状況に対する事業体質の強化

現地生産と現地開発の強化

エンジンベンチ&エンジン工場の新設（トヨタ）
⇒**エンジン工場の増強**

Sumare工場 SEDBA集約（ホンダ）
⇒**地域に向けたモデル開発**

② 市場回復時の飛躍につながるブランド強化

環境安全規制強化とその対応

4. 日系ブランド 課題への対応 — 現地生産と現地開発の強化

背景

- 部品の現調率を向上するためにサプライヤーの技術力の育成が課題
- エンジンの現地生産は現調率向上への重要案件
- ブラジル市場により適した車の開発が課題



5月10日

中南米地域で初となるトヨタエンジン工場の開所式を実施

- 所在地： サンパウロ州ポルトフェリス市
- 生産能力： 年産10.8万基
- 従業員数： 約320名
- 投資額： 約180億円（約5.8億レアル）
- 生産エンジン： 排気量1.3Lと1.5LのNRエンジン（エティオス搭載用）



「シンプル＆スリム」「フレキシブル」をキーワードに、日本の工場でも導入を進めている革新的生産技術を導入。その結果、エンジン工場の主要工程（鋳造・機械加工・組み付け）を一つの建屋に集約し、コンパクトで需要変動に強い工場が完成。

11月

エンジン新工場(ポルトフェリス)の能拡を発表

投資額:600百万レアル⇒投資額を計1,180百万レアルに倍増
エティオスのエンジンに加え、19年下期からカローラのエンジンを生産。
現状108K基/年産⇒174K基/年産。



期待される効果：

- エンジン部品の現調率向上により、為替の影響とコストの低減を目指す
- ブラジルのお客様により適した商品の提供
- サンベルナルド工場におけるエンジンベンチ新設と併せた現調化のスピードアップ、およびローカル・サプライヤーの育成と技術力向上

4. 日系ブランド 課題への対応 — 現地生産と現地開発の強化

研究所 建屋 [スマレ]



- 2013年10月、四輪研究所をサンパウロ市内からスマレ工場敷地内へ移転
- お客様が求める商品をよりスピーディに開発・生産



2014年10月 スマレ工場内にSEDBAの機能を集約

S: Sales/ E: Engineering/ D: Development
B: Buying/ A: Administration



南米地域に向けたコンパクトSUV「WR-V」をブラジルで開発・生産・輸出

- 地域市場に根差した商品開発・生産を行うことにより、市場での競争力を強化
- 現調化や輸出含め、事業体質の強化を推進

四輪業界動向

1. 2016年振り返り
2. 2017年展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

5. 総括 – まとめ

2016年実績/ 2017年展望

- ジウマ大統領の弾劾手続き継続が採択された4月以降、一部経済指標で若干の改善が見られる。
- 2016年後半以降、経済回復に向けた具体的な消費刺激策が打ち出されており、自動車業界においても底打ち状態からの回復が期待される。
- 一方で、消費者購買意欲は上向きにはならず、需要停滞継続。

状況を踏まえた対応

- 一部経済指標で回復の兆しが見られるものの、急激な変化が今後も起こり得るという前提の下、中長期の方向性は変えず、環境変化に負けない事業体質強化が引き続き求められる。
- 為替対応を踏まえた部品現調化や生産性向上などにより、コスト低減、および輸出促進を図る。
- 現調化や輸出のさらなる加速には、ブラジルの国際的コスト競争力向上が鍵となる
- 税制改革や裾野産業の育成など、低いコスト競争力を打開する恒久的な取組みが官民連携の下で必要

5. 総括（政府への提言）

政府および自動車業界の取り組みと課題

- 1) 新技術導入を促進する適切な自動車政策
 - 新技術を搭載した商品のブラジルのお客様への提供、ブラジルへの新技術集積

- 2) 自由貿易政策／輸出促進政策
 - ブラジル製車両の輸出拡大に向け、短期の経済情勢や貿易収支動向に影響を受けない一貫した政策の継続

- 3) 人材育成
 - エンジニアや熟練労働者等、技術開発やモノづくりの分野でリーダーシップを発揮できる人材育成

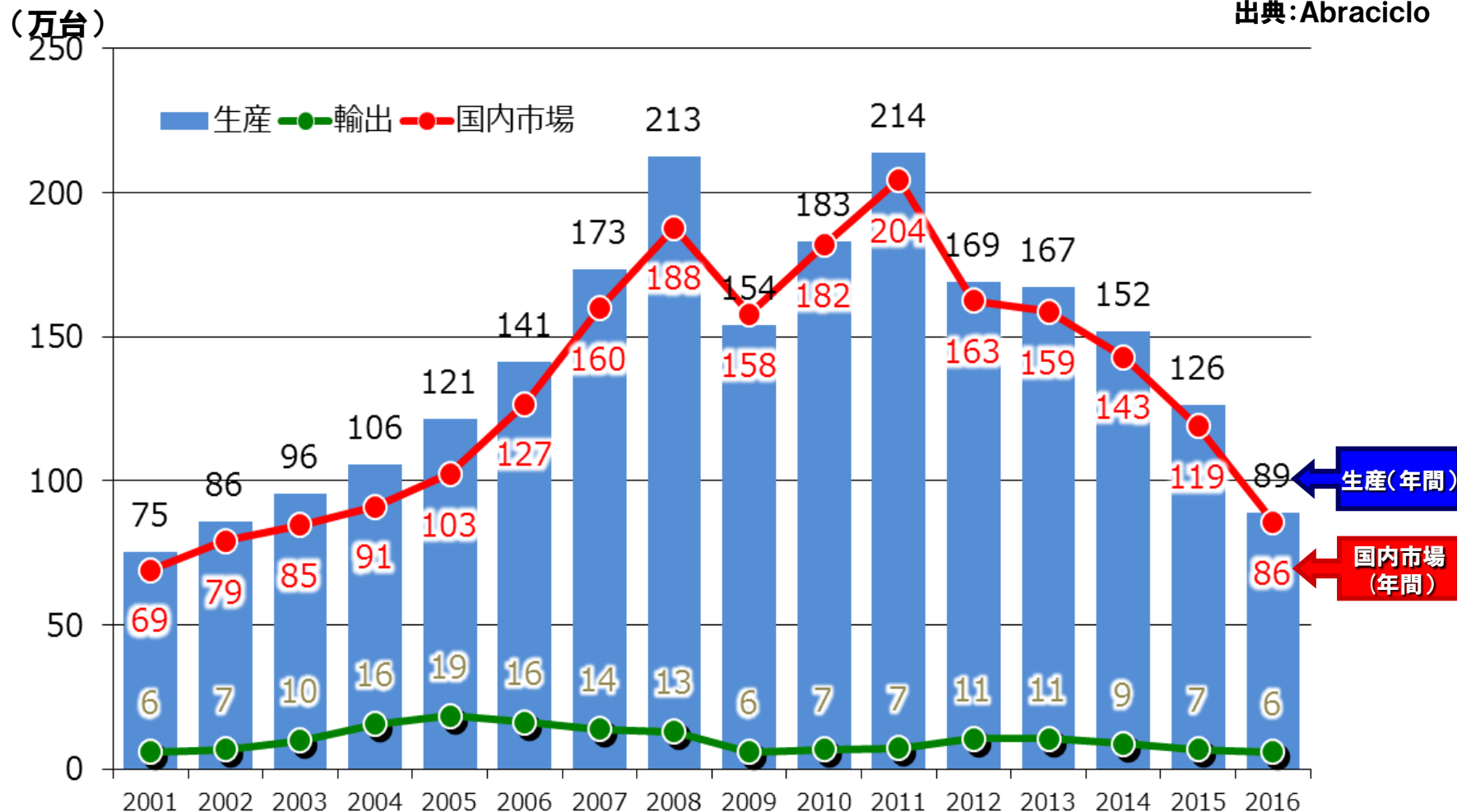
- 4) 協調的な労使関係
 - 生産性向上、および持続的成長に向けた労使協力（労働環境の改善、柔軟な生産弾力性の確保）

- 5) 人的交流
 - 日伯関係のベースは人的交流

二輪業界動向

二輪車 生産・販売 推移

出典:Abraciclo



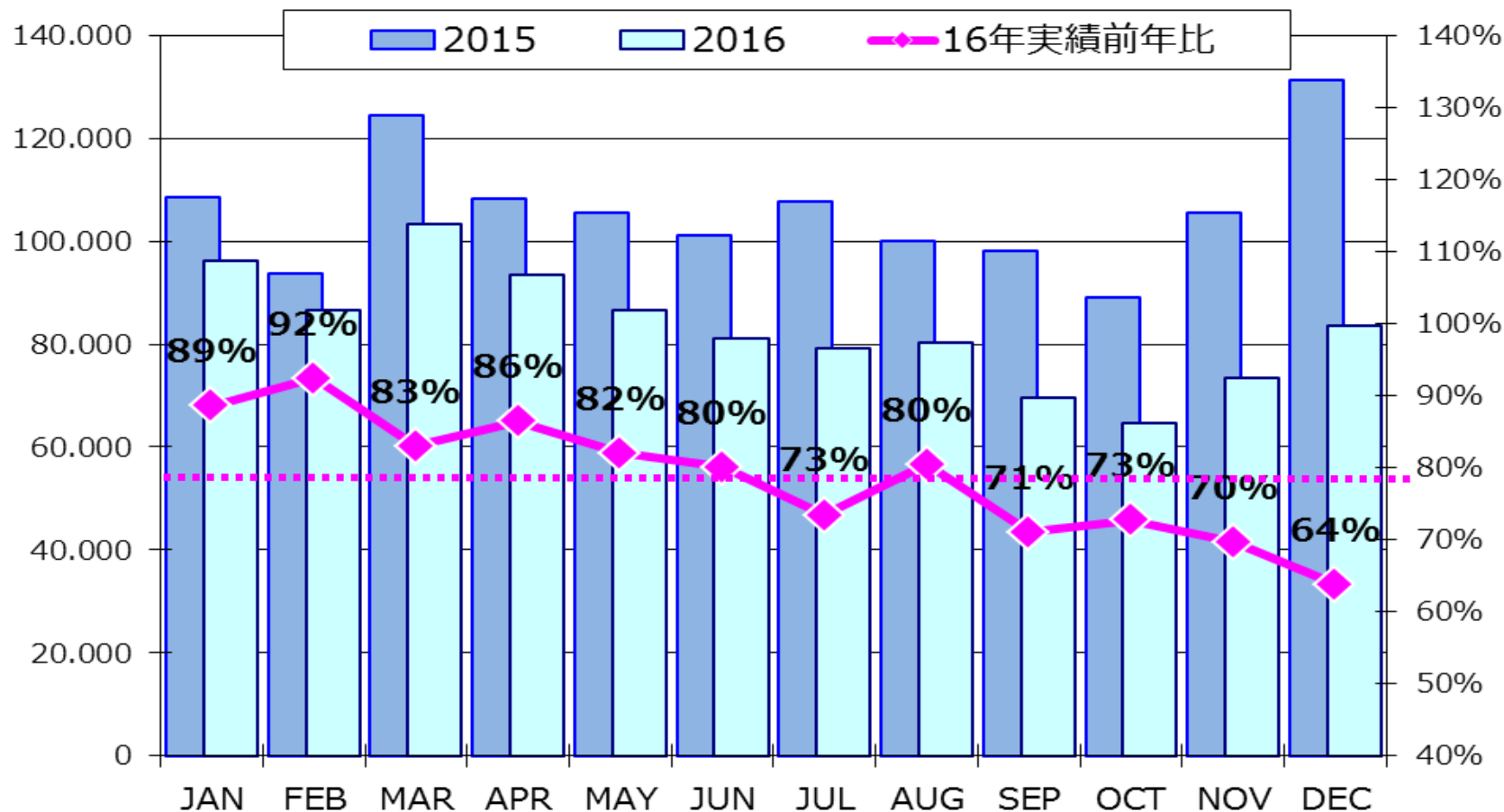
2016年実績

卸 86万台 (前年比72%)
 生産 89万台 (前年比70%)
 輸出 6万台 (前年比85%)

長引く不況や解雇増による将来への不安と購買力の低下により
 市場の落ち込みが加速し、卸 & 生産共に前年比7割となる。

二輪車 月別販売推移 (2015年vs2016年)

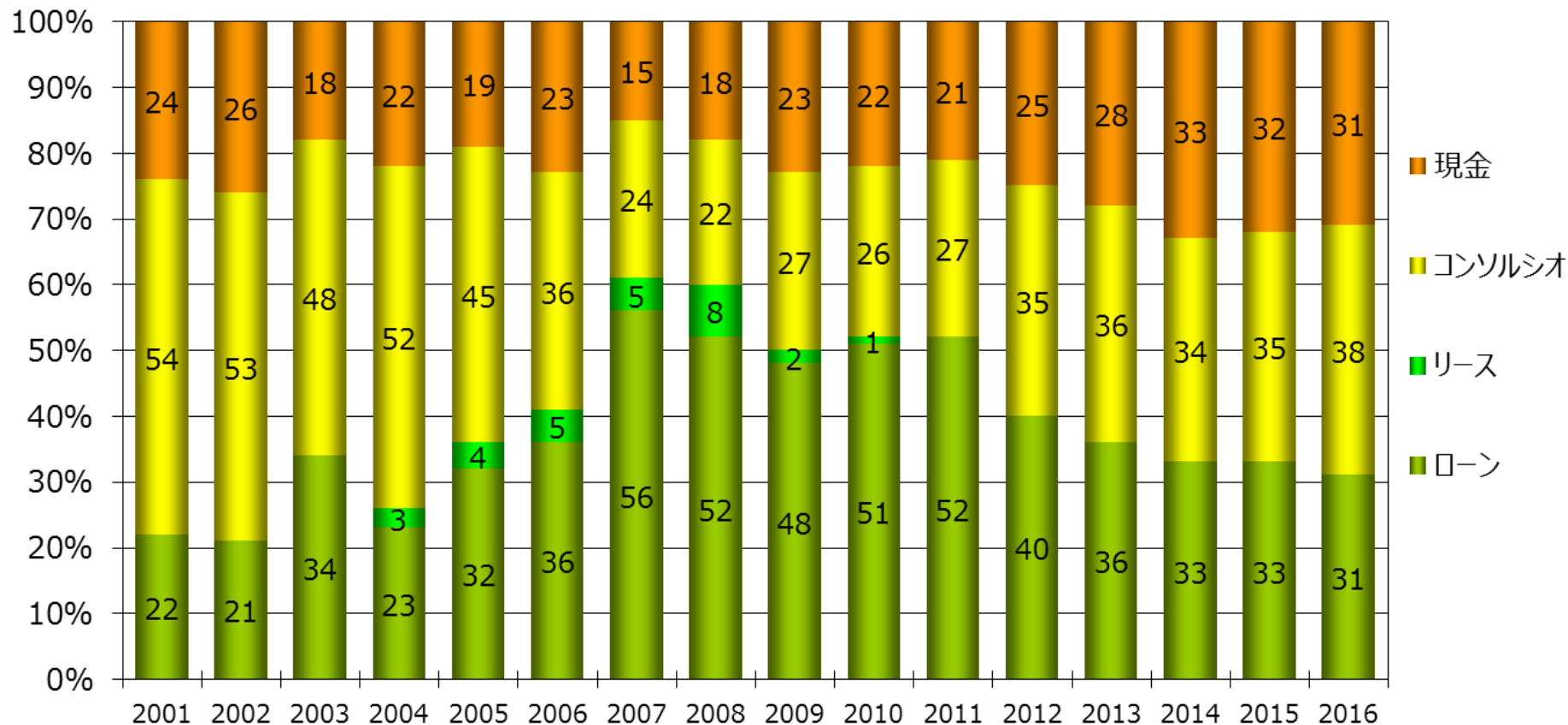
登録データ(DETRAN)



上期の前年比8割から月を追う毎に落ち込み、9月以降は更に落ち込みが加速、
例年盛り上がりを見せる12月も回復の兆しが見えない状況。

二輪車 支払形態別 販売比率

※出典: ANEF(自動車メーカー系金融会社協会)



クレジット金利の上昇、可処分所得の低下によりローン申請数自体が減少。
 現金に分類されるディーラーローンも販売台数減少による資金繰りの悪化で減少。
 相対的にコンソルシオ比率は高まるも、バイクを引き取らず換金比率が高まっている状況。

Obrigado!